

6月報(2025年) 萌 カトリック福山教会



福山教会活動テーマ：

「喜びをもっていのちをもたらす福音を社会に伝えよう」

〒720-0808 福山市昭和町7-26

☎【084】923-0614 FAX【084】923-0615

e-mail : fuku-ch@ktd.biglobe.ne.jp

【足りるを知れ】

佐藤 紀子

現代の病の中で多くを突きつけられている重い言葉です。日本のように物や情報に事欠くことが無いと尚更だと思えます。

アメリカの発明家トーマス・エジソン彼は文明に多大な発展を残した偉大な人物として知られています。

少し頭を柔軟にして聞いてください。その当時の人達は太陽の光を生活にとり入れそれに合わせ行動するといういわば原始的な生活が当たり前でした。それがこの偉大な人物が白熱電球を発明し世界は一転、大きく様変わりをしました。このことによりエジソンは世界に名を轟かす唯一無二の存在としてこの世に名を残しました。

人々は、待っていたに違いないと私は想像します。豊かになりたい、今よりかは暮らしを良くしたい、人が生活している中でその延長線には幸せになりたいという願望が強くあった筈です。豊かさイコール幸せと言う未知のものに対する人間の好奇心が窺いしれます。それから時代が過ぎて、今は機械の世の中、なにもかもが人間を陵駕しつつあります。豊かになって行きつく先にさらにその上と高みを目指し、人は幸せからは遠のいていっている様です。

何もかもが揃っているのだから幸せなのか、重い課題です。一人ひとりの問題なのに個があまり大切にされず、人間を軽視し存在意義すら考えさせられる今の世の中の風潮があります。

『足りるを知れ』とは己を知ること。持っているもので満足することが私自身はそういう意味のことかなと思えますが、実際、聞いてもピンとはこず、あまり考えると窒息しそうです。つまり、人の成り立ちと言うか精神論なのだと思います。豊かさとは何なのか、もう昔にもどれないのかもしれない。

現代に於いて大きな発明を成し遂げる人などきつといないと思います。けれど自分と向き合うことで私自身を開拓し、心を耕すこと、それは誰にでもこの国籍の人にも出来ます。心の束縛を解き放つことができると感じます。

「未熟な私はですが、この世の全ての理不尽や悪と対峙を、十字架にかけら



れたイエスさまに苦難を思い起こすことは普遍的なカトリックの愛の精神の大切さに気付かされ、心の中が少し洗われる思いがします。」

清貧とは？かつてを生きた時代の人達も考えたことでしょうか？時代が移り変わっても人は生きた証、自分の足跡を他者の為に、使える人であれば、そのように思います。

理想かもわかりません。その世にあって力強くメッセージを残してくださったイエスさまも、そして過去の産物も問いかけていることと思います。

時代の分岐点に私と向き合うこと、何の為に生きるのか、この混沌とした時代を生きるのに指針となる大きな言葉です。

【ブラザー阿部のみ言葉おすそわけ】～マタイ福音書 16 章～



『あなたはメシア、生ける神の子です。』

今日は、聖ペトロとパウロの祭日です。祝日よりも大きなお祝いの祭日です。それ程教会にとって大切な聖人たちなのです。

実は、私のいる聖パウロ会では、明後日の 30 日に聖パウロの祭日として、暦にはない祭日を祝います。特別にローマに許可された大きな祝い日です。ですから今日は、主に聖ペトロについて考えましょう。そして明日聖パウロについて分かち合うことにしましょう。

今日のこの言葉をもって、イエスはペトロを教会の柱とし、天の国の鍵を授けられました。このペトロが初代の教皇とされ、現在のフランシスコ教皇まで繋がっているのです。今日は、心から教皇様のために祈りましょう。

教会のすべてを担い、指導者としてたてられた教皇様の上に、健康の恵み、指導者としての働きの上に、聖霊の豊かな恵みを願い求めましょう。

私達も毎日の生活の中で、小さなペトロの使命を持っています。

私達は毎日、目には見えないけれど、神さまからたくさんの恵みを頂いています。

聖ペトロのように、鍵は持ちませんが、神さまに与えられた恵みを十分に生かし、宣べ伝える使命が与えられているのです。

決して、大きなことでなくてもいいのです、人に微笑むこと。あいさつをすること。それも出来るなら苦手な人に…。素晴らしい恵みが、神さまから頂けるかもしれませんよ。

世界の平和を祈ります。憎しみが、微笑みに変わることを。神さまのちからで。

掃除 当番	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
7 月	5日 第8ブロック 府中・新市 神辺・修道院	12日 第1ブロック 御船・御門	20日 ベトナム	27日 英語	
8 月	2日 第2ブロック 南部	9日 第3ブロック 深津	17日 ベトナム	24日 英語	30日 第4ブロック 春日・幕山
9 月	6日 第5ブロック 手城・大門 引・伊	13日 第6ブロック 山手・松永 沼隈	21日 ベトナム	英語	
10 月	4日 第7ブロック 御幸・本庄 吉津	11日 第8ブロック 府中・新市 神辺・修道院	19日 ベトナム	26日 英語	
11 月	1日 第1ブロック 御船・御門	8日 第2ブロック 南部	16日 ベトナム	23日 英語	29日 第3ブロック 深津
12 月	6日 第4ブロック 春日・幕山	13日 第5ブロック 手城・大門 引・伊	21日 ベトナム	28日 英語	

【南相馬便り ⑦⑦ 2025年6月】 援助マリア修道会 南相馬修道院 北村 令子



相馬藩の伝統行事で 1000 年以上続いている、野馬追が昨年に続いて 5 月末に開催されました。親子 3 代で出場する家族も少なくありません。おじいちゃんが孫を前に乗せて、3 歳ころから訓練しています。

野馬追のお祭りの直前になると、朝練が始まり、午前 5 時ごろには、このちびちゃんも、お父さんかおじいちゃんのお添えで乗馬の練習をしています。

こうして次世代にもこのお祭りは受け継がれていきます。今年から女性の出場の年齢制限が取り払われました。(これまで 20 歳以下未婚の女性)



東京電力福島第一原子力発電所の廃炉の一番大きな課題である溶融デブリの回収は、まだまだ先が見えません。昨年ロボットアームが採取したデブリはわずか 0.7 グラムだったとのことです。1 グラムにも満たない塊を 5 か所の検査機関で分析して、今後の回収の工程を考えるそうです。40 年で廃炉を完了するとの計画は、どうやら行き詰まっているようです。

40 年前に起きた、アメリカのスリーマイル島原発事故炉の廃炉作業は未着手、ウクライナのチェルノブイリ原発事故は今後 100 年（1986 年の処理時）が必要とされています。

東京電力福島第一原発の事故処理総費用は 21.5 兆円（廃炉には 8 兆円）、民間シンクタンクの試算では、事故処理総費用を 35～81 兆円という途方もない費用と時間がかかるとのこと。

廃炉が決定されている各地の原発にそれぞれこれほどの費用と時間が掛かるとして、その費用はだれが負担するのでしょうか？



政府は、原発を推進する方針で、新規の設置だけでなく、耐用年数を 40 年から 60 年に引き延ばし、古い原発も再稼働させようとしています。ますます事故の可能性が高くなって、第 2、第 3 の福島が現実味を帯びてくるように感じます。



わたしの召命物語

24歳で初誓願を立てて、下関の長府修道院で2年間過ごし、26歳で英知大学神学科に入学しました。18歳の若者たちとの勉強で、必修の教養科目、特に数学(結局数学は取らず物理でごまかしました)、体育など大変でした。シスターたちの学生寮に入っていたのでいろんな修道会のシスターたちとのかかわりも豊でした。

ゴールデンウィークや夏休み、冬休みには新幹線で福山の修道院に帰省していました。

ある時の新幹線の車中での出来事です。お隣の座席のちょっと年配の紳士が話しかけてくれました。「カトリックの尼さんですか?」「はいそうです」「おいくつですか?」いきなり女性に向かって??と思いましたが、今さら、と思い正直に「26歳です」と言うと「もったいないなあ～!!失恋でもしたんですか?」、「皆さんによく言われるのですが、失恋させてきました!!」と答えると、興味を持って、しつこく聞かれました。しょうがないな～話すか!?

5月号に書いた女性の生き方を考えたこと、そして、修道院入会前の3月に教会の青年会で、ミサの後、男性4、5人と女性2人で「奇跡の人ヘレンケラー」の映画を見に行った時のことを話しました。映画もこれで見納めと、私は特別の感慨を持って、この感動的な映画を鑑賞しました。見終わって、ちょっともの思いにふけて、はっと気が付いた時には、周りにいた青年たちはさっさと出て行ったようで、S君独りと私を取り残されていました(初めからS君と私を出会わせようと図られていたようです。そんなことを知らない私でした。)S君が、「お茶でも飲もうか」と誘ってくれたので、近くの喫茶店に入って、お茶を飲んでいると、彼が改まった様子で、「あの～結婚を前提にお付き合いしていただけますか?」「え～、ごめんなさい!私、4月の20日に下関の長府修道院に入会の予定で、まだ誰にも言っていないので、ごめんなさい、お受けできません。」と言うと、しばらくして彼は、「う～ん、イエス様が相手なら負けだ～。もしダメだったら待ってるから、僕のところに帰って来いよ!」と。その言葉どおり彼は、私の終生誓願まで待っていたようです。福山教会のカテキスタの方から聞いて、はじめて私はそのことを知り、彼の誠実な人柄に感動しました。そして、私は、イエス様に、彼の将来に幸せな道を開いてくださるようにお祈りしました。こうして私は、いろいろな方の捧げによって、この道に生かされていることを本当に感謝しています。60年くらい前のこと、極秘も解禁ですね。こんな内容のことを長い新幹線の道中に話したのですが、紳士は納得出来ない様子なので、「もったいないと思っただけなのはありがたいのですが、神様にお捧げするものは、もったいないようなものでなければならないのではないのでしょうか?」と言うと、「それもそうだな～」と納得してもらいました。自分を「もったいない!」なんて、ちょっと恥ずかしい気がしましたが・・・。

【新しい仲間】

アントニオ 豊田 稔人様 (御船地区) どうぞよろしくお願ひいたします。

【帰天のお知らせ】

マリアフランチェスカ 重久 宏子様 (89歳)
謹んでお知らせします。どうぞ心を合わせてお祈りください。

【6月・月の行事予定】

6 月		7 月	
1(日)	主の昇天	3(木)	聖トマス使徒
8(日)	聖霊降臨の主日 日曜学校遠足	20(日)	街頭募金 日曜学校終業式
15(日)	三位一体の主日 父の日	22(火)	聖マグダラのマリア
22(日)	キリストの聖体	25(金)	聖ヤコブ使徒
24(火)	洗礼者聖ヨハネの誕生	26(土)	聖ヨアキムと聖アンナ
27(金)	イエスのみ心	29(火)	聖マルタ 聖マリア 聖ラザロ
28(土)	～29(日) 召命学校(福山教会)		
29(日)	聖ペトロ聖パウロ使徒		

【編集後記】 梅の実をみると六月が来たなと思います。梅雨・湿気・蒸し暑さ、あまり気持ちの良い時期とはいいがたいのですが、雨にうたれた紫陽花は美しいし、スーパーの店頭一杯並んでいる青梅の緑も又美しいと思います。どうも今年は梅の成り年らしい。巷でもそうウワサをされています。叔母に梅の実を取りに来るように言われ畑に行ってみると枝が折れる程に実をつけた梅の実が“これでもか”と言わんばかりに実をつけています。箱一杯持ち帰り何日もかけて梅ジュースを作りました。梅の実のへタを取りながら私は、神様の目からみたら一粒の梅の実、梅の一粒では何も作れないが、たくさん集まれば梅干し・梅ジャム・梅ジュース等いろいろな物が作れるなと思いました。教会も一人では何も出来ないけれど、皆一緒にすればなんでも出来るなと思いました。聖書にも三人寄れば……と書かれています。皆一緒に教会の為に働けると良いですね！

教会では、月に一回“萌”という機関誌を発行しています。原稿が集まらなると発行が難しくなります。皆様の協力をお願いいたします。自分の思う事、旅行記、不満、随筆なんでも良いので書いて頂けると嬉しいです。どうぞよろしくお願ひいたします。(S・F)